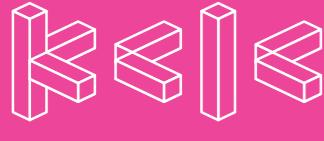


KCIC Annual Report 01

Arts Crossing 02



Kagoshima
Cultural
Information
Center



ポスター掲示風景：鹿児島市路面電車内



オープニング・ポスター (11種類制作)



PROJECT #01

自由な発想を持つアーティストとつくる
アーティストシリーズ

2013年度：OPENING POSTER PROJECT
「下菌詠子 × 松田朋春 写真作品『美人島』」



写真家 下菌詠子 × プランナー 松田朋春 写真作品『美人島』を巡る旅

○フリーペーパー 「Arts Crossing」01



MEDIA

多様な表現媒体

○ WEB

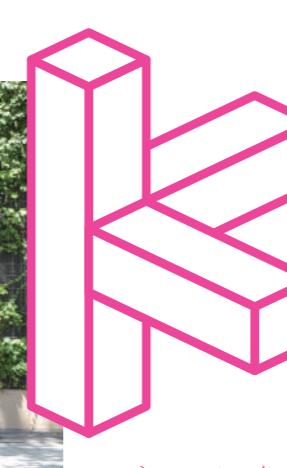
KCICホームページ <http://www.kcic.jp>
Facebookページ <https://www.facebook.com/Kagoshima.KCIC>
Twitter https://twitter.com/KCIC_KAGOSHIMA
Ustream <http://www.ustream.tv/channel/kcic-tv>



○電子書籍 KCIC BOOKS

(左)人、祭、花尾神社
<http://bccks.jp/bck/117628/info>
(中)ドキュメント・下菌詠子×松田朋春『美人島』
<http://bccks.jp/bck/120122/info>
(右)KCIC アニュアルレポート 01
<http://bccks.jp/bck/119218/info>

○ 展示 KCIC内、市民アートギャラリー、公共空間（電車、フェリー等交通機関、広告塔、商業施設）等



シンボルマークの意味

VISUAL IDENTITY



年賀状

オープン告知DM

KCIC ANNUAL REPORT

MISSION

かごしま文化情報センター（KCIC）は、既存の概念にとらわれない表現活動として、また、空間の概念を超えた活動体として、ワークショップや対談、ミーティングなど人々や活動をつなぐことや情報の編集、発信をする。活動を記録化させる意味も含め、さまざまなメディアを作り、多くの人々を巻き込む。その中で鹿児島と国内外のクリエイションをつなぎ合わせ、鹿児島の中でもつなぎ合わせていく。拠点そのものを作り出すのではなく、ここを通じて鹿児島の今面白いことを打ち出していく、鹿児島のことを知りたければまずここにアクセスする、またここで面白いこと同じ方掛け算されて新しい情報が作られることを目指す。」

01～11の番号は、電子書籍「KCIC アニュアルレポート 01 (<http://bccks.jp/bck/119218/info>)」のプロジェクト番号と対応しています。

REPORT

PROJECT

3つの活動軸



電子書籍「人、祭、花尾神社」より

紙本「人、祭、花尾神社」



PROJECT #02

地域における文化を見つめなおす
地域×アートシリーズ

2013年度：「人、祭、花尾神社」

PROJECT #03

年間の活動を振り返る
アニュアルレポートシリーズ

2013年度：「KCIC アニュアルレポート 01」

04

まちでの活動

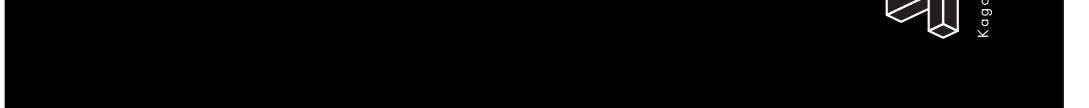
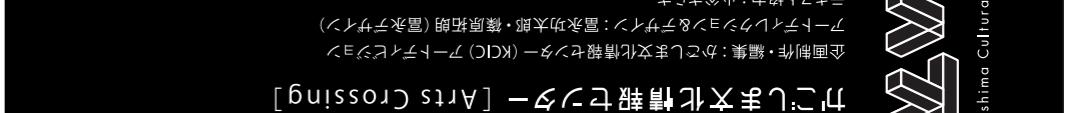
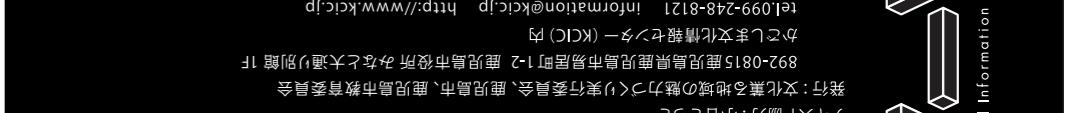
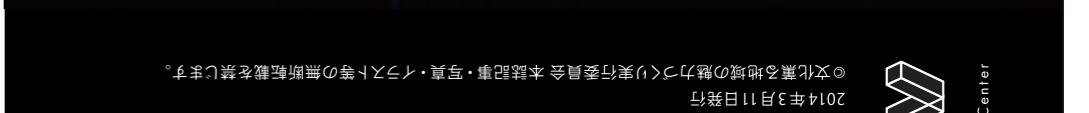
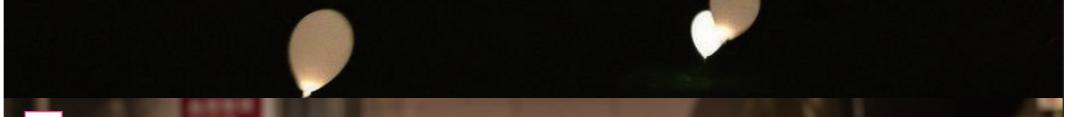
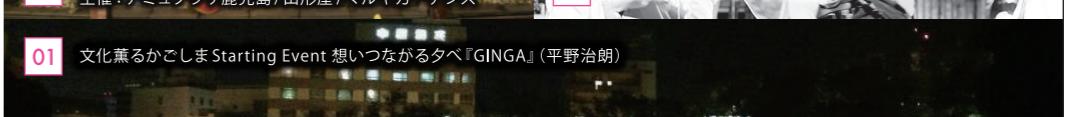
OUTREACH



02 トーク

06 セミナー

11 コスモス祭り in 喜入箭之浜町



WORKSHOP



05

地域の古着ワークショップ (左)

『わたくしのきおく、あなたのきおく、まちのきおく』

○写真地図ワークショップ (右)『ニュー名所地図づくり』

講師アーティスト：平川渚 / KCIC

参加型プログラム

— KCIC に寄せて 『BUNKA-HIDERI』 レトロワ代表 永井明弘 —

文化旱（ひがり）、なんて粗っぽい言葉がゆるされるとしたら、数年前までのかごしまは、そうだった。今から5年前に、私たちが今のKCICのすぐ近くにギャラリーを開いたとき、それは、今にして思えば陸の孤島状態だったのかもしれない。寂しい店開きだった。それは暗い洞窟に向かってアートをよびかけるような毎日、笛吹け人は麻かず。それがどうしたことだろう！今、かごしまは旱魃の地割れどころか、私の目には豊穣のフィールドそのものだ。それも、かつて諦いてみえた首都圏にコムブレックスを抱く必要もないほどに。KCICの開設は、私の目にほんんど僥倖としか思えない。そのあたりにも理想的なオープンのタイミングが。早すぎて続かないかった、遅ければ遅きに失した、その間合いを絶妙に突いてのKCIC誕生。それは、このかごしまの若いアーティストたちの活動の（なぜだか理由はさだかでない）運命的な一斉の発芽期に重なっていた。温泉を、桜島を、そして歴史の偉人を讃たかごしまは、その時期がいかにも長すぎた。温泉地も火山も全国いたところにあるから、観光も産業もそれだけでは人を動かせない。でも「人」だったらどうだろう！あの人会いたい、あの人のアートを見たい、そうした動機があるならば人は地球の裏側からでも駆け付ける。ちょうどKCICがオープンした2013年をギャラリー主の視点でながめるなら、この時期の30歳代を中心としたアーティストたちの興隆は、どこかうねりにも似た「事件」だった。海外から、首都圏から、かごしまを「目ざして」帰ってきた、あるいはやってきた若者たちの表現への希求は、それ以前のこの街を知る私の想像しないほどの厚みと熱を帯びていた（ひとつには東日本大震災の禍根がかなしい影響も及ぼしていた）。今が上げ潮だ。でも力む必要はあるまい。若者たちの夢を私たちは聴き、心を注ぐだけきっと彼らはやってくれる。その篤いサポートを…私はKCICに期待しているのだ。

----- 永井 明弘 (ながい あきひろ) 造園家・ギャラリーオーナー -----

1999年鹿児島市生まれ。上智大学法学部卒。'89年渡伊、ミラノで庭園デザインを学ぶ。'96年庭園デザイン事務所「地中海庭園」を開設。'99年鹿児島市名山町にある築47年の古ビルにギャラリー「トロフトMuseo」を開設。'12年4月同ビルに「レトロワチトセ☆ブックバーゼル」を開設。古書店やカフェ、アトリエの混在するビルの中から若手アーティストをまきこんだ鹿児島の魅力発信の手段をさまざまに模索中。

© 2014年 11月 11日発行
161099-248-8121 information@kcic.jp <http://www.kcic.jp>

カゴシマ文化情報センター KCIC

〒890-0015鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-8121 FAX: 099-248-8122

郵便番号: 890-0015
住所: 鹿児島県鹿児島市中央町1-11 鹿児島市役所総務課企画調整室
TEL: 099-248-81



COMMUNICATION GALLERY

企画やイベント、ワークショップ制作物の展示



WORKING SPACE

ワークショップ等の制作作業スペース



TALK SALON

講師を招いてのトークイベントの開催



INFORMATION CORNER

国内外のアートイベントのフライヤーやフリー・ペーパーを提供する「ART NEWS」の設置



LIBRARY

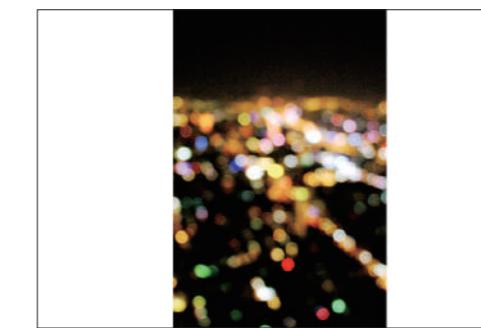
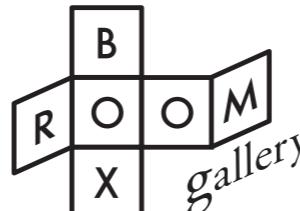
現代美術書、各美術館の寄贈図書などを閲覧できる本棚「ART LIBRARY」の設置



BOX-ROOM GALLERY

KCICセレクトの注目作家の作品紹介スペース

07



タイトル：Scene of Light: AEON Taipei.2009.000
2011 Pray for Japan Edition
作家名：川瀬 浩介

「目に見える全ては光——カメラのレンズをフォーカスを合わせることのない状態で記録した夜景の写真。それは、普段見つめている世界を完全なる「光」に還元する。どんなに厳しい現実に直面しても、目の前にあるのは「光」なので知るとき、僕らはどんなときも、前を向いて歩いていくはず。」そう信じている。」

■入居期間 2013/8/21～



タイトル：SMALL STORY OF KAGOSHIMA
作家名：松尾 晴代

「桜島、霧島、高嶺山のそれぞれのイメージから、神話的な要素をモチーフにしたオブジェ。」

■入居期間 2013/8/21～



タイトル：石巻 Ishinomaki 2012-2013 Culture and Art Documentary文化とアートドキュメンタリー映画
作家名：リチャード・バイヤーズ

「2012年から2013年、わたしは石巻で地元の音楽家やアーティスト、職人などアートプロジェクトを行った。その後、わたしはこの地で創作した映像や写真、そしてローリングを使って石巻の人々の生活を外に広げたい。2011年の震災後、復興を進めているのはこの地の人であることを見てもうらういたいと思った。ここでは、石巻の夏祭りや地元の太鼓奏者の演奏、そして様々な短編映像を紹介。また、石巻の子どもたちが作った新聞も展示する。」

■入居期間 2013/9/10～2014/2月未定



タイトル：イマゴロキヅイタ
作家名：永里 開人

「すごく単純でかんたんに子どもの頃にたくさん言われていたけどそれは無視しちゃいてそれは生活していくうえでけっこう大切なことで事の大さに今頃 気付いた」

■入居期間 2014/1/31～

2014年度ワークショップ 5月スタート！

-KCIC WORKSHOP-

アーティスト・平川渚と行うワークショップ

制作プログラム

※ワークショップ・参加・体験して何かを学び合ったり、創り出したりする、学びと創造の機会を指します。

平川渚プロフィール

毎回テーマを設定して、KCIC周辺のエリアを普段とは違う目線でリサーチし、多角的に地域を知る試みを行います。

詳細・募集案内は<http://www.kcic.jp/workshop> KCIC新規のフライヤーをご覧ください。

ゲストアーティストプログラム

ゲストアーティストを招いてオリジナルワークショップを行います。どんな内容になるかはお楽しみ！

KCIC サポーターズ募集！

ワークショップやイベントの制作等を手伝ってくださる方を募集します。年齢不問、アートに興味のある方。詳細・お問い合わせは<http://www.kcic.jp/>をご覧ください。

KCIC book mark

紙



「町口覚 一〇〇〇」紙本文庫版
町口 覚 著 / 構成
発行 1000BUNCO 2013年

電



「LAYER / レイヤー」
matuphakka 著
発行 FACTORY出版部 2013年

ローカルから発信する
文化を通した街づくりを
ご紹介します。

自由な創造力が生まれる街
ばいか
梅香(大阪府此花区)

JR大阪環状線 西九条駅 徒歩5分

新幹線の発着する新大阪駅から大阪駅を経由して4駅目、JR「西九条駅」徒歩5分の梅香(ばいか)。ここは、交通の便が良い反面、もともと都市周辺の住宅・工場地帯で地価が安く、一種の都市における空洞化した街でした。徐々に高齢化が進み、空き家が目立つようになってしまったのが、2007年より不動産会社と協力したNPO法人などが様々な試みをはじめると、次第に地区外から人が移り住み、若い世代のアーティストたちが行き来する活気のある街となりました。



Local + Art

まいは圧巻で、アーティストやキュレーター、近隣住人たちの様々な活動と地域をつなぐメディア(媒介物)となりました。もうひとつは、オルタナティブ・コマーシャルギャラリー「梅香堂」(ばいかどう)。国内で日々の企画を行って来たキュレーターの後田寿徳(ごくたひでのり)が、この界隈の動きとは関係なく偶然にもこの地を気に入り越えて来て、トランの壁でできた2階建ての古い倉庫を改装。天井に空けた吹き抜けが2つの展示室をつなぐギャラリーをオープン。空間を活かして地区内外のアーティストの企画を行って数本実施し、若いアーティストたちはここで、後田氏と見合せを作り上げる経験をする場となりました。斬新で意欲溢れるこれらの展示を見たときにこの地を訪れる客との交流も活発に行われたのです。

アーティストが運営し、作り出す暮らし

そして、これらの動きが街に活力を与え、アートを取り巻く有機的なスペースが、自由に、ゆるやかに誕生します。大阪府と市、商工会議所が2009年に実施した都市構想プロジェクト「京都大阪」の一環で梅香地区にオープンしたレジデンススペース「モタバコヤ」。会期中はアーティストの下道基行を管理人に

●此花アーツファーム <http://konohana-artsfarm.net/> ※梅香地域来訪の際は、開催中のイベントの有無を確認することをお勧めします。



アートを軸にした2つの場から、
多様な交流が生まれる。

この地区が、アートを介して地域を活性化させる原動力となつたのは2009年にオープンした2つのスポットの活動でした。まず、ひとつは、元メディアス(medias)工場を改装し、アトリエ兼レンジシアス施設となった「此花めだか」。美術家藤浩志や20代を中心とした若手アーティスト、ダンサーがここを住居兼制作拠点とし、住人たちによる企画展を開催しながら創造の力を發揮しました。以前は5棟の建物だったものを1体化した建築。増改築を繰り返す中で複雑に入り組み結合した独特なその彷彿

MAKING

KCICオープンに向けて、第一工業大学・根本研究室の学生の協力のもと、手作りで棚と机を製作・移動できる、組み合わせることができる、さらに低コストでスタイリッシュ。固定されず自由な活動を目指すKCICらしい空間の誕生。(2013年8月完成)